





理事長  
高藤 興哉

## 創立から六十年

白陵会の皆様には、令和4年の新春を迎え、新しい気持ちでそれぞれの道に勤しまれていらっしゃる様子、心より敬意を表するものです。そして、今年もよろしくお願い申し上げます。私にとって、正月の楽しみの一つはNHKの大河ドラマです。昨年の『青天を衝け』もそうでしたが、今までの戦国・幕末の歴史的人物を主人公にしたものから、少し違う人物を通して日本の歩みを見ていこうとする点で、大河ドラマは新しい段階に入った感があります。そもそも私は、『鎌倉殿の13人』の意味が全く分かっていませんでした。頼朝とその腹心たちと生きていたら、暴走しそうな第二代將軍頼家を制御するための「十三人の合議制」だということです。教科書レベルを超えた深い内幕が取り上げられるようです。ドラマの主人公は北条時政の息子義時です。この源氏と北条氏による鎌倉幕府は武家による政治というところで、今までの公家による摂関政治とは全く違ってきます。当然それは、一朝一夕にできなかったものではありませぬ。平安

末の保元の乱、これは天皇と上皇の争いに摂関家の兄弟争いが加わり、それに源平の武士が招かれて戦争をしたものですが、その乱への武士の登場がその後の源氏と平氏の天下を二分する戦争につながったのです。そして公家に代わる、武士の権力把握を決定付けたのが一二二一年の承久の乱でした。三人の上皇は佐渡等へ配流され、以降江戸時代が終わるまで、武士の時代が続きます。この保元の乱から承久の乱までが60年余で、一つの時代が次の時代が変わるには、それくらいの年月がかかるということでしょう。そしてこの争乱は、和漢混交文で書かれた『平家物語』等を生んだということでも新時代を創ったのです。

そして、振り返って白陵を見るに、六十周年を迎える一年前（令和三年）から高校の制服が自由化され、同時に年間五回行われる定期考査はすべて五日間での実施となりました。後者は小さなことのように見えますが、実はかなり大きな変更です。生徒は自主自律の生活をより意識することになります。白陵の歴史を簡単に日本歴史と比べることは適切ではありませんが、本校は六十周年を前に、新しい時代に入りつつあると考えます。これは、生徒にも先生方にも大変なことですが、がんばっていきなりたいと思っています。ご理解をお願いする次第です。



校長  
宮崎 陽太郎

## 「新しい白陵」に向かって

同窓会の皆様には、日頃から本学園の教育活動に対して、ご理解とご支援をいただきありがとうございます。

今年の干支は「壬寅」です。壬（みずのえ）は、陰陽五行では海・大河を表すそうで、生徒には大海原に一人漕ぎ出す気概をもって欲しいと願う今日この頃です。昨年は九月一杯まで「緊急事態宣言」に見舞われながらの学校生活でした。そのような災難のなかで、大変ありがたかったのは、多くの卒業生たちが来校してくれたことです。今年度は、卒業生による講演会だけでも、三月末までには、延べ二十二名もの卒業生を数えることになりました。生徒にとっても、これほど心強いことかと思えます。さらに卒業生が多方面で活躍するニュースに刺激を受けたのか、生徒は多くの大会で良い成績を残しています。ホームページには、その一端を紹介しておりますので是非ご覧ください。

振り返ると、コロナ禍に見舞われた二年間でしたが、「禍福は糾える縄のごとし」で、却って学校として一番大事なことは何

だろうと考えるきっかけになりました。優先順位が明確になれば、こだわらなくても良いものが見えてきます。高校での服装自由化や、五十分授業で始業時間を九時にしたことなどはその結果だと言えます。最も優先されるのは、「学びの園」としての実践です。学びにおいては素直に受け入れる態度がまずは必要です。しかし一方で、学校で習うことの中には嘘や間違いは結構あります。さらに世の中の事柄には、実はわかっていることの方が圧倒的に多いのも事実です。表面的に勉強して分かったような気になるのではいけません。不器用でも頭を絞り、その都度、何故だろう、本当なのかと考える、これが白陵生の真骨頂ではないでしょうか。

さて、白陵高校の卒業生は、この度の第五十七期生の卒業をもって、九八九〇名となりました。そして創立六十周年を迎える来年度は、一万名を超える卒業生をもつこととなります。世の中の変わり目となる昨今、白陵は「還暦」を迎えるの生まれ変わりの時代とも言えます。しかし、表面的にはいろいろ変わっても、学校としての本質はこれまでの延長線上に乗っていることと自覚しています。同窓会の皆様には、今後ともあたたかきまなざしで見守っていただきたく存じます。併せて皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

# 二〇二二年白陵会定例総会

## とき

令和四年六月十二日(日)  
 十四時～ 定例総会  
 十五時～ 懇親会  
 (十三時三十分～ 受付)

## ところ

ホテルモントレ姫路  
 (姫路駅東口) 3F  
 〒六七〇〇九二七 兵庫県姫路市駅前町六〇  
 ☎〇七九一二四一七一一  
 ホームページ  
<https://www.hotelmonterey.co.jp/himeji/>

## 参加費

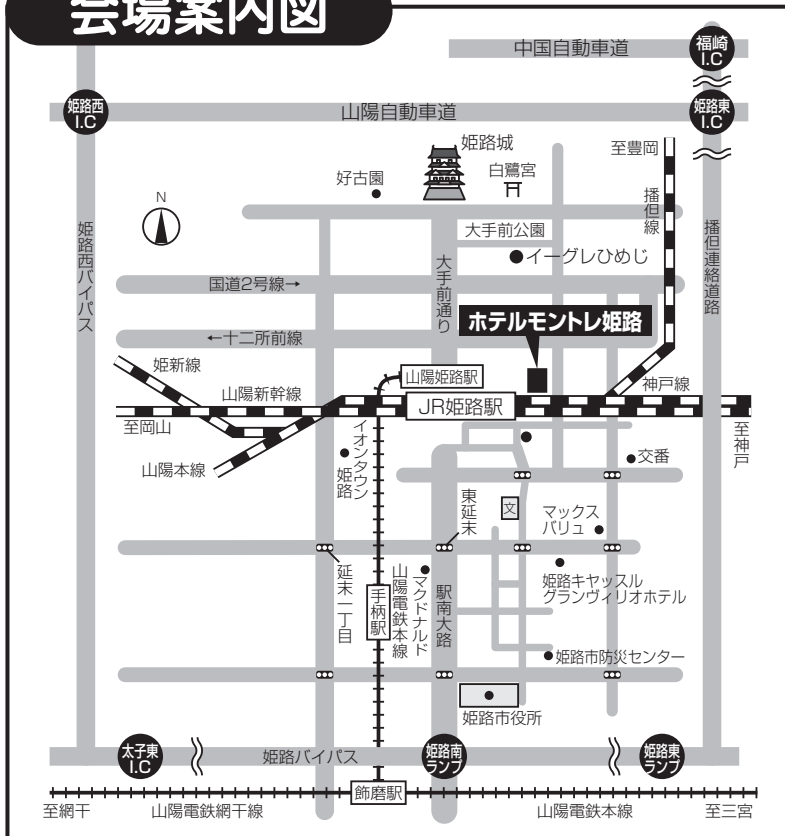
三,〇〇〇円  
 ※参加ご希望の方は白陵会ホームページ  
 (<https://hakuryokai.jp/>) の  
 申し込みフォームからお申し込みください。  
 今回はホームページからの申し込みのみとなります。  
 4月25日(月)までにお申し込みください。



ホームページは  
 こちらから↓



## 会場案内図



新型コロナウイルス感染状況等により総会を延期又は中止する場合は、白陵会ホームページによりご連絡させていただきますと共に申し込まれた会員の個々のアドレスにメールによりご連絡させていただきます。

寄稿

年年歳歳花相似  
歳歳年年人不同



13期生  
西谷 大

私が勤めている、愛称「歴博」は、正式には、「大学共同利用機関法人「人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館」といい、千葉県佐倉市の佐倉城址の一角に、約13万平方メートルの敷地を有し、延べ床面積約3万8千平方メートルという壮大な規模を有する歴史博物館です。「歴博」には、

3つの顔があります。

1、国立の歴史民俗系博物館「現代」まで展示している唯一の国立の歴史系博物館



歴博

2、大学共同利用機関（大学などの研究者と共同で、歴史学・考古学・民俗学をはじめとする隣接諸科学との学際的、国際的な研究を進める）

3、大学院（総合研究大学院大学／文化科学研究科／日本歴史研究専攻）の博士課程をもつ。

私は、2020年4月、8代目の館長として就任しました。なぜこのような道を歩むことになったのか、お話ししたいと思います。

高校時代、歴史好きだった私は、熊本大学文学部史学科に入学しました。きっかけは一年生の時に考古学研究室で行っていた発掘の実習に参加して、考古学の面白さに目覚めたことです。

熊大の考古学研究室の主任教授は、ご専門が琉球列島だったので当時、トカラ列島の中之島で発掘実習があり、その実習に誘われました。参加してみると、発掘は学生と先生のチームで行われること、また、野外で調査が行われることが性に合っていると感じました。

たとえば、発掘調査では、発掘現場の交渉、宿の手配、発掘そのものの指揮、発掘後の遺物の整理や写真撮影、報告書作成などにチームで取り組み、大学院生になるとその指揮を任されるようになります。仲の悪い同級生とチームを組むこともあれば、けんかもしました。それでも人と接しながら、発掘のために必要なことを組織しながら進める考古学の研究スタイルが面白かったのです。また、一人で部屋にこもって文献を読んでいるよりもフィールドに出て、調査する点も魅力でした。

その後、人類的な手法を取り入れた研究を展開していくのですが、その転機は、1986年から3年間に中国に留学したことでした。中国は大国で、地域によって文化や人々の暮らしがまったく異なることを目の当たりにしました。たとえば、当時、天津や北京ではみなが人民服を着ているので、青と緑の服しかありませんし、食事も冬は毎日、ブタ肉でも脂の多い部分と白菜かジャガイモの炒めものです。レストランもほとんどなく、外食はできません。一方で広東には個人商店がたくさんあり、食事も美味しい。こうした違いを肌で感じて、中国の文化や人への関心が高まりました。

さて、歴博は日本の多くの博物館とは異なり、歴史や民俗などを専門

とする研究者から構成される研究博物館です。ですので歴博のような博物館にとつての展示は、「人とは何か」という、人間を追究し表現するためのものだと思っています。それを体現できたのが、「大ニセモノ博覧会」展造と模倣の文化史」という偽物を集めて展示した企画展示です。



第1展示室

この展示を通して考えたかったのは、なぜ人間は偽物を作るのかということ。偽物には、人をだます偽物もありますが、そうではない偽物もたくさんあります。たとえば、雪舟の作品は15点しか確認されていないのに、280もいた江戸時代の大名はみな雪舟の作品を持っていたのです。つまり、ほとんどが偽物を持つていました。大名という社会的立場上、持つていた必要があったのです。見栄のための所有です。偽物イコール儲けるためのものと短絡的に考えがちですが、それ以外の理由で偽物が存在する意味があり、そこには人間らしさが表れていると思います。ただ、偽物を展示するのではなく、人間がなぜ偽物を生み出すのか、その歴史的、社会的な背景を明らかにする。しかも、一人ではなく、専門分野の異なる研究者と一緒になって考える。それが展示の魅力です。

館長としての今後の抱負として、今回のコロナ禍によって、あらゆるものがオンラインに移っています。しかし、人間は人や物と実際に接す

ることで考え、感性が磨かれると思います。ですから、オンラインで博物館の収蔵品が見られるような取り組みも必要ですが、実際に博物館に来てもらうことを促す取り組みも継続していかなければいけないと考えています。

また、旧石器時代から現代までの間に人間は生や死とどのように向き合ってきたのか、病気とどのように向き合ってきたのかをもう一度考える機会が必要だと考えています。そうした大きな歴史の流れの中で今回のコロナ禍を理解する、そうした視点が今後求められるようになると思います。いずれそうした展示が歴博で開催できたらと夢を描いています。

プロフィール

大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館館長  
総合研究大学院大学文化科学研究科 日本歴史研究専攻教授兼任  
文学博士（総合研究大学院大学）  
学歴および職歴…

熊本大学文学部史学科 1984年卒業  
熊本大学大学院文学研究科史学専攻修士課程 1986年単位取得退学

中華人民共和国 中山大学人類学系

1989年まで留学

国立歴史民俗博物館研究部助教授

2004年

国立歴史民俗博物館研究部教授

2012年11月

国立歴史民俗博物館副館長 2017年

国立歴史民俗博物館館長 2020年

専門分野…考古学（東アジア人類史）  
著書…

「食・物と自然の秘密」小峰書店、2003年

「第50回青少年読書感想文全国コンクール課題図書」

「多民族の住む谷間の民族誌 生業と市からみた環境利用と市場メカニズムの生起」角川学芸出版、2011年

「写真紀行 雲のうへの千枚ダム 中国雲南大

棚田地帯」社会評論社、2017年

編著…

「見るだけで楽しめる！ニセモノ図鑑 贋造と模倣からみた文化史」河出書房新社、

2016年

2016年

寄稿

## 諦念の先の陰翳礼讃

株式会社めい 共同創業者  
株式会社ゆい DX統括責任者



日下部 淑世

下から指折りの成績だった問題児（私）がキャリアの授業で呼ばれるという、とんでもない時代がやってきました。白陵出身者にしては「持てるもの」が少なく、故に「豊かさ」について人一倍考えてきた一卒業生が、どのように今の社会を捉え、子供たちにどのようなエールが送れると考えているのか、お伝えできればと思います。

バブル崩壊、数々のショック、震災、パンデミックと次から次へとやってくるラスボス級の課題に對峙し、社会も山あり谷ありしつつも着実にレベルアップ、とは一概に言えない現代。例えば、世界の人口が増え、国内の高齢化が進む中、国内の人口は年々減少が続いています。年金の支払い額は年々上がるがどこかで破綻するだろう、そんな諦念を持ちながらも義務感を持って払い続けているのが多くの現役世代かと思えます。

既に仕事をもち、ある程度社会でのアイデンティティを確立している世代に對し、まだ社会のことも自分のことも模索中の学ぶ世代がどのように生きていくのか暗中模索の世代、私はそんな彼らが強く生きるこ

とのできる仕組みを作りたいという想いで生きています。

私が大学卒業のタイミングで共同創業者と始めた事業は、「お金がない」「場所がない」「仲間がいない」「肩書きがない」まさに自分たちをターゲットにした職住一体型の共同住居の運営でした。100軒の不動産の問い合わせをして借りることができたのは1軒だけの町家。部屋の間仕切りもありません。SNSで声かけをし集まったお客さんたちと共に住み、お互いの夢を語り合いながら、それぞれ仕事にしたいと思っっていることを小規模に実践し、各々会社化したり独立していく場所となりました。

最近改名をした元 Airbnb 社も、元々学生寮で作ったサービスがきっかけとなつて事業化されたものです。藤子不二雄氏や赤塚不二夫氏の住んでいた『トキワ荘』も安い共同住居。どこも人や情報、知識や知恵の往来があり、エネルギーがよき形でアウトプットされる、夜通し語り明かせるような場所だったに違いありません。



私はこの「自己や他人と対話する」時間こそが豊かさの源泉であり、「机上の空論を現実社会に落とし込む」行為こそが人生の苦しみであり楽しみであると感じています。

「何のために生まれて何をして喜ぶ、答えられないなんてそんなのは嫌だ」。これはやなせたかし氏の作

詞したアンパンマンの主題歌で、1988年以降多くの子供達が口ずさみ、耳に入れてきた歌詞です。愛と勇気以外にも友達は何だって欲しいところですが、先行きの暗い今の時代にこそ、子供たちと聴きなおいした歌です。

豊かさとは何かを再定義する時、持てるものがお金や権力だけをさす時代は終焉を迎えようとしていることに気がつきます。令和を生き延びるための神器を「己のものさし」と「共感し共にユートピアを開拓してくれる仲間」、そして「ユートピアと社会を繋ぐ思考力と実践力」を定義したいと思います。そこにどんな絶望に負けない強く生きるヒントがあると思うのです。

最後に少しかだけ宣伝させていただきます。現在、私たちの実験場の一つとなつているのが、京都中央卸売市場場外にある、河岸ホテル（かがんほてる）という複合施設です。ポプデザインたちの過ごした『チェルシーホテル』やピカソたちの過ごした『洗濯船』をオマージュした、若手作家の職住一体型住居と一般開放されたホテル&ホテルとなつているので、京都にご宿泊の際は是非体感していただけると嬉しいのです。

### プロフィール

1987年兵庫県生まれ。宅地建物取引主任者。画家であった亡き母の影響で、夢ある若手の活躍できる社会づくりをミッションとし、大学時代よりアートや漫画、映画などのコンテンツ産業について学びながら、プロダクト開発や企業のブランディングに関わり、2010年度東京ギフトショーグランプリ、2014年度以降京都市委託事業での出版など。IT、土地にまつわるリサーチ&ニッチマーケティングを武器に、不動産企画やコミュニティ・エリアマネジメントを行なう。https://kaganhotel.com（河岸ホテル）

## 陵友会 ゴルフコンペ



2021年11月3日、第25回りようゆう会ゴルフコンペを開催致しました。当日、暑くも寒くもない絶好のゴルフ日和の中、27名の参加者がOUT・INに分かれて、皆、優勝を目指して、スタートして行きました。豊田正彦先生も参加して頂き、大会を盛り上げて頂きました。優勝は、13期生の小田敦巳氏で、会長より優勝カップと賞品を受け取られました。おめでとうございます。

そして、もうすっかり薄暗くなった中、家族サービスの袋いっぱいパンを各自持って、帰途につかれました。次回も多数の参加をお待ち致しております。

10期生 吉田 達哉

卒業生の活躍

二〇二一年八月

44期生山田祥五氏が兵庫県将棋アマ王位戦でベスト16、さらに12月の西日本支部対抗名人戦兵庫県代表選抜戦で優勝しました。今年4月西日本大会へ出場されます。

二〇二一年九月二十一日

14期生片山安孝氏が兵庫県副知事に起用されました。人事課長や企画県民部管理局长、産業労働部長、公営企業管理者などを歴任。今年4月兵庫県信用保証協会理事長に就任、そして今回は副知事就任、ますますのご活躍を期待いたします。

二〇二一年十月三十一日

衆議院選挙で38期生住吉寛紀氏が初当選されました。これからの活躍に祈念いたします。

二〇二二年三月一日

13期生宮原博昭氏が本校でMBS「ザ・リーダー」の番組収録を行いました。(株学研ホールディングス代表取締役社長である宮原氏の原点に回歸するということが本校での収録となりました。本校での思い出を含め、かつての白陵の姿がインタビューの中で語られています。4月第二週放映予定です。(朝5時40分より)

二〇二二年一月九日

55期生の成人式同窓会がポートピアホテルで行われました。コロナ禍の中、大学入学して二年間ほぼオンライン講義が中心の大学生活を行う卒業生がテーブルでの人数制限、感染防止策の徹底、ノンアルコールという形式で実施に至りました。約150名の出席者はお互いの情報交

換を行いながら旧交を温め合いました。様々な分野でご活躍の卒業生がおります。近況等、是非ともご連絡ください。同窓会HPでも様々な方々の情報が掲載されております。よろしく願います。

55期生  
同窓会を開催して

55期生 三木万梨子

2022年1月9日に55期生同窓会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症流行で以前から同窓会は無事開催できるのか心配していましたが、昨年秋季感染状況が落ち着き、少し安心しておりました。しかしまた1月からオミクロン株の感染が拡大し、直前にひやひやしました。それでもこうして無事に開催し、終えられたこと、本当に嬉しく思います。ホテルの担当者様、東村くん、実行委員の方々、賀内さん、香川さん、先生方をはじめとする出席していただいた皆様に感謝申し上げます。白陵を卒業してから久しぶりに会ってみんな見た目も変わっていて驚きましたが、皆で集まって明るくてわちゃわちゃした雰囲気が高時代を思い出して懐かしくなりました。今の状況を思うと授業を受けたり学校行事を楽しんだりした中高の6年間は貴重な時間だったと思います。同級生の近況を聞いたり、先生方からご自身の近況や現在の白陵のことを聞いたり、2時間半では話し足りませんが、久しぶりに会えて本当に良かったです。個人的に、今は白陵にあまり気軽に行けな

いので先生方にお会いしてお話してきたのが嬉しかったです。水泳部や演劇部に入った話を聞いたり、かくいう私も弓道部に入ったり、白陵では出来なかったことを今たくさん経験しています。授業も内容だけでなく形式も想像とは全く違います。中高の時に考えていた将来のことも大学に入って大分変わりました。これから大学や社会で皆が違った環境でいろんな経験をしたいと思います。またこんな風に皆が集まって、話をする機会があればいいなと思います。

55期生 東村颯起

今回、コロナ禍とはいえ55期生の同窓会を開催出来たことを、非常に良かったと感じています。延期すべきがどうか迷っていたが、会場のホテルで感染対策1が徹底されていることや、1月は感染者数が落ち着いていたことを考え、同窓会を開催しました。感染対策として余興等も行わなかったため、2時間半という会の長さを持て余してしまうのではと危惧していたが、いざ始まってみると本当にあつという間だった。コロナ禍で思い描いていたようなキャンパスライフを送ることが出来ず、将来への不安を抱えている学生は少なくない。そうした中で、中学高校の6年間を共にした友人達や、お世話になった先生方に会い、そういった不安も解消された。やはり、体育祭や修学旅行、大学受験など、あらゆる時を一緒に過ごした友人や先生は、自分の中で非常に大きな存在であると感じた。このコロナ禍で、人と人が直接会って話す機会が減っている今だからこそ、このような場を設けて非常に良かったと感じてい



サッカー部へ  
サッカー部OBから寄付

神港通運株式会社代表取締役である25期生 北村 耕一郎氏より、サッカー部へ、但馬銀行における次世代創成型私募債発行手数料の一部を寄付して頂きました。



## 令和2年度 収支決算報告書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

単位/円

収入の部	予算額	決算額	差異
前年度繰越金	12,449,235	12,449,235	0
会費収入	4,320,000	4,632,000	△ 312,000
会費 (56期生)	2,820,000	2,835,000	△ 15,000
会費 (1～50期生)	1,500,000	1,797,000	△ 297,000
総会費	0	0	0
会費外収入	21,000	72,436	△ 51,436
名簿収入	10,000	0	10,000
広告収入	0	0	0
利息収入	1,000	616	384
雑収入	0	71,820	△ 71,820
寄付金	10,000	0	10,000
記念総会積立金繰入収入	0	0	0
合 計	16,790,235	17,153,671	△ 363,436

## 令和2年度 会務報告

実施日	内 容	場 所
令和2年7月15日	白陵会 総会 議事 書面 表決	
令和2年12月1日	理 事 ・ 役 員 会	姫路商工会議所
令和3年2月11日	第56回白陵高等学校卒業式	白陵高等学校
令和3年3月	会 報 第 4 0 号 発 行	

支出の部	予算額	決算額	差異
事務費支出	525,000	242,091	282,909
会費管理手数料	100,000	105,435	△ 5,435
消耗品費	50,000	0	50,000
印刷費	50,000	0	50,000
通信費	300,000	130,056	169,944
支払手数料	20,000	6,600	13,400
雑費	5,000	0	5,000
会議費支出	450,000	151,350	298,650
理事会費	200,000	75,675	124,325
役員会費	150,000	75,675	74,325
委員会費	100,000	0	100,000
事業費支出	2,360,000	1,315,623	1,044,377
総会費	0	0	0
名簿発行費	0	0	0
会報発行費	1,800,000	1,008,970	791,030
ホームページ維持費	110,000	101,640	8,360
卒業記念品費	300,000	183,920	116,080
慶弔費	150,000	21,093	128,907
備品費支出	0	0	0
OB会活動助成金	300,000	270,000	30,000
渉外費支出	110,000	0	110,000
予備費支出	100,000	0	100,000
寄付金	0	0	0
小計	3,845,000	1,979,064	1,865,936
記念総会積立金	200,000	200,000	0
学校寄付積立金	500,000	500,000	0
次年度繰越金	12,245,235	14,474,607	△ 2,229,372
合 計	16,790,235	17,153,671	△ 363,436

## 白陵会役員名簿

氏 名	期	役 名	氏 名	期	役 名	氏 名	期	役 名	氏 名	期	役 名
会 長	3	天野 泰文	常任幹事(広報)	8	前川 裕司	常任幹事(総務)	35	阪本 覚	常任幹事(総務)	52	稲垣 大翔
副 会 長	2	湖中 明憲	// (総務)	9	手井 幸男	// (研レ)	36	近藤 理恵	// (総務)	52	富木 琴乃
//	10	服部 博明	// (研レ)	10	加藤 雅宣	// (HP)	36	杉岡 央基	// (総務)	53	岡田 弦大
//	15	町田 直隆	// (総務)	12	西庵 利彦	// (総務)	37	岸上真紀子	// (総務)	53	後藤 真由
理事(研レ)	3	神吉 裕資	// (研レ副委員長)	13	矢野 善人	// (HP)	37	亀山 信生	// (総務)	54	佐々木仁哉
// (会計・総務)	4	岸本 和男	// (総務)	14	片山 安孝	// (総務)	38	上野 紘之	// (総務)	54	篠田 侑果
// (HP委員長)	6	長野総一郎	// (総務)	14	竹中 邦夫	// (総務)	38	堀 素史	// (総務)	55	東村 颯起
// (総務)	8	黒川 仁	// (総務)	16	田中 正一	// (HP)	38	住吉 寛紀	// (総務)	55	三木 万梨子
// (研レ)	9	村角 伸一	// (総務)	18	秋田 直樹	// (総務)	39	堂國久美子	// (総務)	56	武田 千輝
// (研レ委員長)	10	吉田 達哉	// (総務)	19	牛尾 英樹	// (総務)	39	根本 厚	// (総務)	56	田中 詩歩
// (広報副委員長)	11	下村 康夫	// (総務)	21	河合 恵介	// (総務)	40	赤澤 剛	校内幹事(総務)	3	黒田 洋
// (総務)	11	志方 正彦	// (研レ)	22	野津 康弘	// (総務)	40	廣江 祥子	// (総務)	11	小紫 一貴
// (広報委員長)	13	来栖 昌朗	// (研レ)	23	中里 寛	// (総務)	41	竹内 雅浩	// (総務)	12	畔上 昇
// (総務)	13	水田 堅	// (総務)	24	奥本 光廣	// (総務)	42	賀川 拓哉	// (総務)	12	山口 透
// (総務委員長)	15	飯島 義雄	// (総務)	24	藤原 省悟	// (HP)	42	宮崎はる香	// (総務)	12	中村 大吾
// (総務)	15	福永 安洋	// (総務)	25	多根 正明	// (HP)	43	八杉 佳奈	// (総務)	14	久保 博彦
// (会計・HP)	17	岡野 清和	// (HP)	26	大西 康記	// (総務)	44	立田 裕昌	// (総務)	15	村上 幸生
// (総務)	20	尾上 尚樹	// (総務)	27	山田 将義	// (総務)	44	恒光 綾子	// (広報)	15	西 善弘
// (総務)	23	石井 秀武	// (広報)	28	柿本 晴彦	// (総務)	44	上月 理加	// (HP)	37	神尾 祐輔
// (研レ)	26	譜久山 剛	// (総務)	28	上山 奉伯	// (HP)	45	三浦 学登	// (総務)	39	石岡 知久
// (研レ)	29	萩原 唯典	// (HP)	29	岡田 康裕	// (総務)	45	坪谷 沙紀	// (HP)	39	清水美沙子
// (研レ)	29	山下 展成	// (研レ)	29	浜田賢太郎	// (HP)	46	戸田 美希	// (総務)	42	小川 裕人
書記(総務)	44	中村 亮太	// (HP)	30	上新 貴弘	// (総務)	46	宮脇 規壽	// (広報)	43	野瀬 彩弥
会計監査(広報)	23	山田 祥五	// (研レ)	31	後藤 大悟	// (総務)	47	戒 直哉	// (広報)	46	神田 澄恵
// (研レ)	35	三木 健史	// (総務)	31	酒井 雅史	// (総務)	47	中谷 英巴	// (総務)	49	福永 航平
常任幹事(総務)	1	安田 孝弘	// (総務)	31	木下 智晴	// (総務)	48	井上 千華	顧問(理事長)		斎藤 興哉
// (広報)	1	芝本真須美	// (HP)	31	村山 稔	// (総務)	48	建石 真一	// (校長)	11	宮崎陽太郎
// (研レ)	4	正井 和野	// (総務)	32	酒井 勇人	// (総務)	49	立石裕之輔	// (教頭)		高見 繁統
// (総務)	5	森崎 晴知	// (総務)	32	小澤有紀子	// (広報)	49	橋本 瑞季	// (元特別参事)	2	川副 義文
// (研レ)	5	塩崎 育男	// (総務)	33	藤井 拓郎	// (総務)	50	池上 学歩	// (元会長)	1	遠山 寛
// (研レ)	6	橋本 義仁	// (総務)	33	北尾由美子	// (総務)	50	津田 彩花	// (元会長)	1	黒川 芳一
// (研レ)	6	福井 孝昌	// (広報)	34	上垣 孝俊	// (総務)	51	佐々木優一	// (前会長)	3	沼田 好道
// (総務)	7	萩本 義郎	// (総務)	34	牧野 琢丸	// (HP)	51	笹久保茉奈	// (前副会長)	6	上田 喜裕

(令和4年3月1日現在)

白陵会News

白陵生の活躍

二〇二一年四月十一日 第50回全国支部将棋対抗団体戦... 二〇二一年五月五日 第48回兵庫県高校将棋選手権大会... 二〇二一年七月十八日 第41回近畿総合文化祭将棋部門... 二〇二一年七月二十九日 第67回兵庫県中学校総合体育大会... 二〇二一年八月十七日 物理オリンピック委員会主催物... 二〇二一年九月十九日 日本魚類学会年會中学生・高校... 二〇二一年十月十七日 「夢化学21」委員会と日本化学... 二〇二一年十一月三日 第45回兵庫県高等学校総合文化... 二〇二一年十一月十四日 第45回兵庫県高等学校総合文化... 二〇二一年十一月二十二日 第41回近畿高等学校総合文化祭... 二〇二一年十一月二十七日 兵庫県数理解科甲子園2021... 二〇二一年十二月十日 旺文社主催第65回全国学芸サイ... 二〇二一年十二月十八日 全国高等学校文化連盟・読売新... 二〇二二年一月十七日 第45回兵庫県総合文化祭放送文... 二〇二二年一月二十三日 第45回兵庫県総合文化祭放送文... 二〇二二年一月二十七日 兵庫県数理解科甲子園2021... 二〇二二年十一月十日 旺文社主催第65回全国学芸サイ... 二〇二二年十二月十八日 全国高等学校文化連盟・読売新... 二〇二二年一月十七日 第45回兵庫県総合文化祭放送文...

さんが金賞、高校3年 菅馬洗貴君、山根総太郎君が銅賞を受賞。

大学入試試験合格者数

Table with 6 columns: 国公立大学, 大学名, 令3年, 令2年, 31年, 30年, 29年. Rows include 東京大学, 京都大学, 大阪大学, etc.

Table with 6 columns: 私立大学, 大学名, 令3年, 令2年, 31年, 30年, 29年. Rows include 早稲田大学, 慶應義塾大学, 東京理大, etc.

※「国公立大学合格者計」は準大学を含む。

編集後記
世の中は乗合舟の仮住まいよ
しあしとも名所旧跡 一休道
歌の一つです。目まぐるしく変
化する毎日、特にこの二年間は
さらにその変化が著しいです。

白陵会物故者
玉田文史(四期生) 逝去
渡辺卓俊(四期生) 令和三年八月 逝去
渋谷陽一(五期生) 平成二十八年 逝去

転退職教職員紹介 令和三年三月
川副義文(保体) 昭和四十六年四月〜令和三年三月
草野貞弘(国語) 昭和五十四年四月〜令和三年三月